

製本のススメ

Vol. 25

立春もすぎて温暖化の影響もあるらしく、本当に春のような陽気が続きますね。春夏秋冬 それぞれに季節の良さがありますから やはり寒いときには寒くないといけませんよね。

今回は**商品化**のお話

商品化＝製本という事を考えた事が有りますか？印刷のままでは商品にならないでしょう。企画段階から 考慮して欲しい事柄を幾つか挙げてみましたので、ぜひ参考にして下さい。

☆ **適正な厚みの用紙選択をしているでしょうか？**

本の厚みを増やす為に、内容や大きさに関係なく、必要以上の厚い用紙が紙目も無視して使われることがあります。これらは、本を開くと用紙同士が強張った状態で開閉される為 すぐに本の背固め部分を破壊していきます

☆ **仕組みに合わない面付けをしていませんか？**

例えば 図表や巻き折り図表等 折り部に厚みの出してしまう付物を1箇所集中して挿入するような企画だとノド側や小口側に隙間が多くできてしまい 仕上げ断裁で天地に裂けキズが発生します。

☆ **画集や写真集のように両面カラーでインクが多量に用紙に付く本では、製本時に背剥がれが起きやすくなります。これはインクと接着剤との相性が合わない為に起こりますので、製版の段階で外折りの背部分に2mm程度の白を作り、そこへ背丁を印刷しておけば、より加工はスムーズです。**

☆ **プロにアドバイスを受けていますか？**

表装材料の選択や型抜き適正 箔押し適正など 実は製品によって使う材料も変わります。同じ加工でも材料が違えば、納期も金額も出来栄も変わりますので 事前に意見を聞いておきましょう。

私たちは刷り本が来るまで、目隠しをしているのと同じで、与えられた印刷物で製品を作りますが、企画段階から分かっていると 細部にも目配りが出来て、良い製品が出来上がります。



Tea break

お待たせしました！**大リニューアル**を済ませでの営業開始です。今回の改装では社内の機械レイアウト変更・**無線綴じ機と折機**の入れ替え さらに3月早々には**中綴じ機**の入れ替えを行い、今まで以上の高品質を目指していきます。やる気満々の井関製本！任せて安心 井関製本をどうぞご利用下さい

by (株) 井関製本